



中地域包括支援センター 保健師

久住 彩乃

KUSUMI AYANO

1989年 長岡市出身
2016年 柏崎総合医療センターにて看護師として勤務
2020年～ 柏崎市中地域包括支援センターに勤務

地域包括支援センターは、その地域に居住する高齢者や家族の身近な相談窓口。住み慣れた地域で長く生活ができるよう、介護・福祉・健康・医療といったさまざまな面から高齢者を見守り、高齢者の心身の状態に合わせ、地域一帯で支援を行う拠点。例えば、健康、病気、介護、金銭等、高齢者やその家族が抱えている悩みや問題について相談を受け支援を行っている。

メンバーは、主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士を中心に構成。相談はその3職種いずれかの担当が対応し内容を共有。それぞれが専門的な立場からアプローチを行い関係各所と連携を取りながら、地域の高齢者やその家族の多岐にわたる問題に力を合わせて対応してくれる。もちろん相談は無料だ。

中地域包括支援センターで保健師として仕事をする久住彩乃さんは以前、柏崎総合医療センターの看護師として勤務していた。

あまり知られていないかもしれないが、保健師の資格を取得するには看護師の資格が必要なため、久住さんは看護師資

格を取得した後に看護大学へ編入、2年間学んだ後、保健師の資格を取得した。「ある患者さんとの出会いが保健師を目指すきっかけになった」と話す久住さん。ケガや病気の人を看護するだけでなく病気の予防や健康を維持するための仕事をしたいと思うようになったという。

地域包括支援センターでは3職種の一人としてさまざまな問題に対応する。久住さんの役割は医療職の経験や視点から問題を予測し、主に医療面での連携やサポートについて意識しているという。

ある相談では「介護保険の申請をしたい、道具を買いたい」という内容だったが、話を掘り下げて聞いてみると大きな病気を抱えていることが分かり、病院の手配をしたという例もある。

また、高齢者の最期を自宅のみとりたいと希望する家族には必要な準備を一つひとつ家族に説明しながら病院と連携を図り、自宅へ戻るための準備や緊急時の対応、往診医師の確保等々、ケアマネジャーと共にさまざまな連携を作り、家族の意向に沿えるように働きかけた。

連携は病院だけでなく、地域の医師や看護師、サービス事業所、地域の方々からの情報や相談も地域包括支援センターにとって大きな連携の一つだと話す。

「保健師としての仕事の経験はまだこれから。包括支援センター内や様々な連携先の方たちに相談させてもらったりアドバイスをいただきながら、私自身も学んでいきたい」と前を向いた。



お問い合わせ

柏崎市中地域包括支援センター

柏崎市松美2-2-41

☎0257-24-6715 📠0257-23-6116

比角、田尻、北嶺石にお住いの方対象

*センターへご相談の際は電話にてご連絡をお願いします